

Deep Freeze と連携した Windows Update の方法



Faronics
DEEPFREEZE™

(株) ネットワールド
SI 技術本部 作成

ご注意

この資料は Faronics 社の正式レビューを受けておりません。

資料の内容には正確を期するよう注意しておりますが、この資料の内容は 2014 年 6 月 9 日現在の情報であり、今後変更になる可能性がありますのでご注意ください。

当社が実際の動作環境をこの資料により保証するものではありません。

実際の設定、動作に関しては評価版にて事前にご確認いただけますようお願い申し上げます。

評価版は下記 URL からダウンロード手続きが可能です。

<http://www.networld.co.jp/faronics/eval.htm>

また、ネットワークでは評価版の無償サポート（30 日）を用意しております。評価版ご使用の際、不明点等ございましたら弊社評価版サポートをご利用ください。

http://www.networld.co.jp/faronics/sup_eval.htm

本資料に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、登録商標または商品名称です。

更新履歴

作成 2010 年 1 月 26 日

更新 2014 年 6 月 9 日

Deep Freeze と Windows Update

Deep Freeze では、保護モード(Frozen)で実施された変更は再起動後に元の状態に戻ってしまうため、Windows Update も非保護モード (Thawed) で実施する必要があります。

Deep Freeze Enterprise ではワークステーションタスクを登録することで、指定した時間に Windows Update を行うよう設定することが可能です。また、SUS/WSUS サーバーを使用する場合、SUS/WSUS サーバーの指定も行うことができます。

ワークステーションタスクを登録すると、Deep Freeze のクライアントは設定した時間に非保護モードで起動し、Windows Update を実行します。その後、設定した時間になると、自動的に保護モードで再起動します。

注意

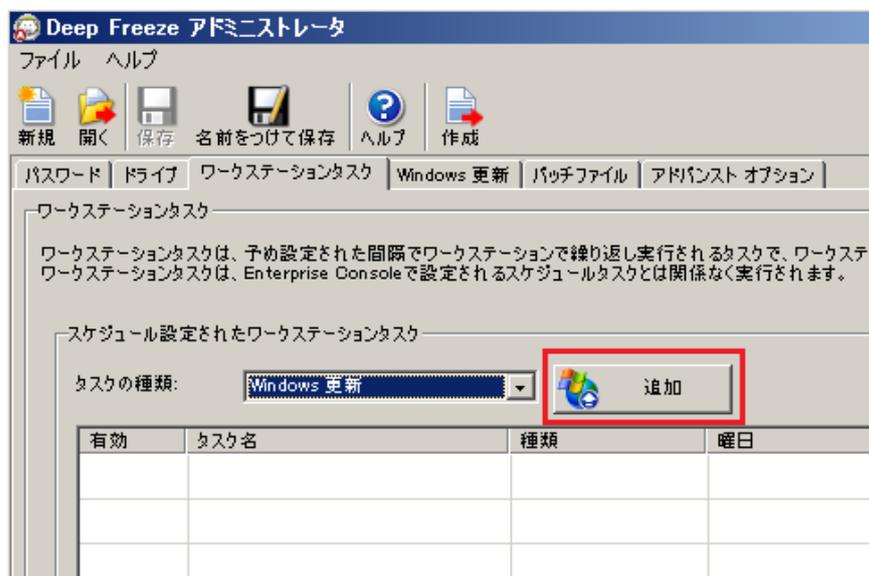
Deep Freeze Standard では、メンテナンススケジュールを登録する機能はありません。手動でワークステーションを非保護モードにして、Windows Update を実行する必要があります。

Deep Freeze Enterprise で Windows Update のスケジュールを登録する

ワークステーションタスクは、Deep Freeze アドミニストレータを使用することで設定できます。Deep Freeze アドミニストレータで Windows Update のスケジュール設定をしたクライアントインストーラを作成し、クライアントにインストールを行うと、設定した時間に Windows Update が実施されるようになります。

設定手順は、以下のとおりです。

1. Deep Freeze アドミニストレータを起動します
2. [ワークステーションタスク] タブを表示します。[タスクの種類]で[Windows 更新]を選択して、追加ボタンをクリックします



3. [Windows Update ワークステーションタスクの追加]画面が表示されたら、タスクの設定を行います

名前 : Windows Update のタスク ※任意の名前を設定します
曜日 : 毎日 ※イベントの曜日を設定します
起動 : 22:00 ※タスクの開始時間を設定します
終了 : [Windows Update の終了時]を選択

注) タスクの終了時間を指定することもできますが、その場合は Windows Update を行うのに十分な時間を設定してください

その他、必要に応じてメッセージ等の設定を行います。

Deep Freeze - Windows Updateワークステーションタスクの追加

[Windows Update]タブの設定に基づいて、次の期間にWindows Updateが実行されます。

名前: Windows Update のタスク

曜日: 毎日

起動: 22:00:00 終了: 2:00:00 Windows Update終了時

ユーザーによるタスクのキャンセルを許可
 タスク終了後にシャットダウン
 キーボードおよびマウスの無効化
 メッセージの表示 5 タスク開始前(分)

タスク中に表示されるメッセージ(空白不可)

このコンピュータはWindows UpdateのためにN分以内に再起動します。 [プレビュー(P)]

タスク中に表示されるメッセージ(空白不可)

このコンピュータはWindows Updateモードになっています。 [プレビュー]

[OK(O)] [キャンセル(C)]

上記の例では、22:00 にコンピューターは非保護モードで再起動を行い、Windows Update を実施します。Windows Update が終了すると、自動的に保護モードで再起動を行います。

4. [OK]ボタンをクリックすると、[Windows Update のタスクが追加されました]というメッセージが表示されるので、再度[OK]をクリックします

5. [Windows 更新]タブが表示されるので、Windows Update のダウンロード方法に関する設定を行います



SUS/WSUS サーバーを使用して Windows Update を行う場合には、[Windows Server Update Services (WSUS)] にチェックを入れ、SUS/WSUS サーバー名を入力します

6. 設定が終了したら、[作成] ボタンをクリックしてインストールプログラムを作成し、クライアントへインストールします

※すでに、ワークステーションに Deep Freeze がインストール済みの場合には、[メンテナンスの更新] から設定を行い、既存の設定を変更することもできます

Deep Freeze の Windows Update ログは、各ワークステーションの以下のフォルダに保存されます。保存場所とファイル名は変更することはできません。

C:\Program Files\Faronics\Deep Freeze\Install C-[X]\DFWuLogfile.log (32-bit)

C:\Program Files (x86)\Faronics\Deep Freeze\InstallC-[X]\DFWuLogfile.log (64-bit)

注意

Windows Update は、Deep Freeze Enterprise のワークステーションタスクを利用し、OS 側の設定で Windows の自動更新は行わないように設定することをおすすめします。